

は変われるということです。人は変われるということを証明したいと思っています。なので、前半は私の話をさせてもらおうと思っています。今の私がどうやって作られたのか、モリチストーリーをぜひ聞いてください。

「困った時のモリチ」が私のスローガンですが、その原点となる経験があります。私が3歳のとき、大好きな弟が2歳で腎臓の難病を発症しました。治療薬がなく塩分が摂れないんです。運動したり塩分を摂ると再発して入院しなければいけない、そんな弟を見ていました。私の人生の師匠の一人、私のおばあちゃんが「食べたいものが食べられて、遊びたい時に遊べる、これが幸せや」とよく言っていました。生きていくだけで丸儲けということで、究極はこれなんです。元気に生きているほど幸せなことではないということを、弟が私に教えてくれたんです。弟が小学1年生の運動会の時、一人椅子に座って観ている姿を見て、先生に「何か私にできることはありませんか」と聞いたところ「そんな難しいことはわからへん。図書館に行ってみ、今も名を残す人たちのストーリーを読んだら、もしかしたらヒントがあるかもしれない」と言っていたので、伝記シリーズとかを読みました。私は読書好きなのですが、それはその時についた習慣だと思っています。読

む中で野口英雄とかヘレンケラーとかマザーテレサといった人たちは皆「自分のためではなく、人のため世のために自分の人生を奉げた人たちだ」と気づいたんです。それを私が体現したら弟の病気を治してくれるかもしれないなあと思いました。「利己ではなくて利他」、「人のため世のために何ができるのか」を考えようと思いました。それが「困った時のモリチ」の原点だと思っています。



他にも試

練、逆境、苦難、いっぱいあるのですが、もう一つだけ話します。みなさんもコロナを経験されて、いろんな意味で大変だったと思います。私もコロナによってこれ以上ないという試験を経験しました。コロナ前、私は仕事ばかりで、子どもたちも自分でできることはやろうと料理、掃除洗濯もできるようなったんですが、私は仕事にかまけて、子育てを全然していなかったんです。2020年にやってきたコロナは世界中に大きな影響を与えました。その中で、私は最大の試験を迎えました。私の息子、当時小学校6年生で、ものすごく愛くるしく天真爛漫な次男が、コロナ

の真つ最中にひきこもりになってしまったんです。それまでは友達から「うちの子が、なかなか学校に行ってくれへんねん」と聞いたとき「大変やね」と言っていました。それが他人事やったなあと自分が経験して思いました。次男に理由を聞いても話してもくれないんです。毎日毎日部屋の中に引きこもっちゃうんです。環境が変われば治ると言われ、東京から静岡の中学校に転校させました。1週間行ってくれたとき「奇跡や、これで治った。これが正解やったなあ」と喜びました。でもそれは糠喜びで2週間目からまた行かなくなり、今度は部屋から一歩も出てこないんです。家族や会社もあるので私は1週間に1回東京に行っていました。その日は部屋から出てくるんです。食事を部屋の前に置いておくのと私が寝静まってから食べる、そんな生活でした。本当に苦しかった1年半。「私が仕事にかまけて子育てがおろそかになっていた。私のせいやなあ」と、自分を責める日々が続きました。手紙を何回も書いてドアの下に隙間から入れてみたり、ご飯の上に置くこともありました。滋賀の地元のお地藏さまや神社に参ったり、よいと言われるカウンセラーを求めているなどところに出かけました。静岡のマンションの部屋が9階だったので、東京にいて急に胸騒ぎがして飛んで帰ったりしたことも

ありました。人生分泣いたんではなにかと思います。そして、最後に行き着いたのが、石垣島のフリースクール「耕せにつぼん」で、不登校とかの子どもたちを預かる場所です。次男が石垣島に行き、半年間は会えませんでした。でも半年後に会いに行ったら、なんとハグしてくれるまでになっていたんです。そんな次男は高校に行きたいと言って、それから3、4か月毎日10時間12時間勉強して、ちょうど先週、自分の希望する高校に見事合格し、石垣島の中学校を卒業しました。私も卒業式に行き、一緒に過ごした先生とか同級生とかとの本当に幸せそうな様子を見て「ああ、よかったなあ」と思いました。この経験で悟ったことはどんなことにも意味があるし、どんなことにも学びがあるということです。私が尊敬する方から「試験とか逆境とか、真正面から見ると自分にとって大きな試験で困難だが、裏側から見たら、自分にとっての学び、自分にとっての成長の機会。必ずそこには意味がある。それも必ず必要なタイミングでやってくる」ということを教えてもらいました。皆さんにもそんなふうに試験に向き合っていたきたいなあと思っています。

【ここまでが前半です。会報「高島藤樹会」には前半と後半を分けて次の号に掲載します。】